

鹿沼市公共施設等総合管理計画に係るパブリックコメントとその回答

	意見	回答
1	<p>① 公共施設のあり方を地域に投げかけることは困難でも重要なことです。</p> <p>② 全市的施設⇒市民による目的別検討会議をつくり、市民が決める場を作っていただきたい。鹿沼市は公共施設のデータのみ提供するスタンスでお願いしたい。</p> <p>③ 地域施設⇒地域別検討会議を作っていただきたい。具体的には、自治会が中心になるのですが、幅広く地域の人たちが参画できるような会議にしてもらいたい。</p> <p>その中で、その地域の再生をどう行うのか。そのための公共施設の役割は何かを考えていく。</p>	<p>・本計画は、本市の施設の現状を明らかにし、市民の皆様と考えていただくきっかけとすることが重要なテーマの一つです。</p> <p>・13 ページ “計画を推進するにあたっての推進体制、フォローアップについて” にもあるように、計画の推進は、市民の皆さんの視点が欠かせないものです。</p> <p>・どのような形となるかは今後の検討が必要ですが、市民協働で進められるよう、様々な機会をとらえて議論していきたいと考えています。</p>
2	<p>・12 ページ ③PPP/PFI、指定管理など民間活力の導入について</p> <p>・PFIは公共施設の建設と運営を民間業者に委託し、長期間の契約の中で自治体が事業者へ委託料を払い続けるというもの。</p> <p>・PFIは公共施設等における民間活力の導入としてもはやされましたが、全国的にはほとんど広がりがなく、またコストやサービスの面でメリットがあるのかどうかについては実証的には明らかではありません。</p> <p>① 公共施設等のデザインに民間の創意工夫を活かす点では、公募方式の入札と同じである。</p> <p>② 民間事業者が公共施設を建設する際に調達する資金の利息は信用力の点で自治体による資金調達の場合よりも高くなる。</p> <p>③ 自治体が民間事業者へ支払う委託料の中には事業者の利益分が含まれなければならないコスト高になる。</p> <p>以上3点においてPFIはほとんどメリットがない。</p> <p>従って導入すべきではないと思います。</p>	<p>・“③PPP/PFI、指定管理など民間活力の導入について” はPFIに限らず、民間活力の導入を積極的に図っていくための方針です。</p> <p>・PFIについては、ご指摘のような“サービス購入型”においてはデメリットが発生する事例が見受けられます。</p> <p>・サービス購入型以外にも、事業者が独立採算でサービスを提供する“独立採算型”、サービス購入型と組み合わせた“ミックス型”等、より民間のアイデアを活かせる見込みがある等、研究の余地は十分にあると考えられます。</p> <p>・導入にあたっては十分に検証を行い、市としての指針を検討していきます。</p>

	意見	回答
3	<p>1 2 ページ ⑥受益者負担適正化の実施方針</p> <p>公共施設に受益者負担を持ち込むのは、「負担できない人は使えない」ことにつながる可能性があります。利用者による利用料は市民の意見をよく聞き決定すべきではないでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設によっては利用者が限定されるなど、偏りがある場合もあります。</li> <li>・もちろん多くの市民、住民の皆様に広くご利用いただいている施設もあることから、使用料手数料審議会などにより、個別施設ごとに慎重な検討を行っていきます。</li> </ul>
4	<p>鹿沼市クリーンセンター内、灰の溶融実験炉について、公共施設は市民の共有財産との考えに立ち、この鹿沼市公共施設等総合管理計画の中に灰の溶融実験炉の事を明記すべきだと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの背景を踏まえ、本施設は施設の役目を終え、廃止されており、施設として利用がないこと、建替えの予定がなく、維持管理に費用も発生していないことなどから、今後の検討課題とすることにしております。</li> </ul>